

栃の木からの手紙

2020年 師走 12月号

7日： 大雪

15日： 新月 旧 11月 1日

21日： 冬至

30日： 満月 旧 11月 16日

8月下旬に雑草と芋の茎葉処理をして9月1日から4日間で収穫した5種類の芋。

9月17日から25日で選別・箱詰め作業を行い出荷待ち状態にしました。箱詰め最終の25日には愛知県の有機COOPに向けて3種類の芋500箱の出荷が行われました。これは全体の半分程が出荷された事になります。

2020年 自然農法・有機JAS 生産量

	北あかり	とうや	さやあかね	ノーザン・ルビー	シャドー・クィーン
作付面積	36a	36a	49a	21a	16a
収穫日	9月2日	9月1日	9月4日	9月3日	9月3日
収穫粗原量	4500kg	4800kg	8600kg	2700kg	1500kg

10kg箱出荷	149箱	221箱	480箱	132箱	44箱
2019 反出荷	412kg	506kg	598kg	806kg	360kg
出荷量①	1490kg	2210kg	4800kg	1320kg	440kg
反出荷量	413kg	613kg	979kg	628kg	275kg

種B品②	396kg	462kg	660kg	342kg	200kg
種S品③	1496kg	600kg	1408kg	990kg	360kg
M品④		550kg	1056kg		
生産量計 ①+②+③+④	3382kg	3822kg	7924kg	2652kg	1000kg
反生産量	939kg	1061kg	1617kg	1262kg	625kg



箱詰めした芋の全ては10月末までに出荷され、昨年より1ヶ月早い出荷完了でした。



5種類の芋の反当たり（10m×100mの面積）の出荷量を上の表から昨年と比較して見ます。

「きたあかり」は昨年並み。

「とうや」は昨年より2割程以上多い。

「さやあかね」は6割以上多い。

「ノーザン・ルビー」は2割減少。

「シャドー・クィーン」は2割以上減少。

生育の早い種類は収量が多く、遅い物は収量減となりました。

美幌町には、芋澱粉を作る工場があり9月上旬から11月上旬まで操業しています。そこでは、澱粉以外にその副産物も製造しており清涼飲料水等に使われています。

5種類の芋の残った物は、来年の種用を残して、澱粉工場へ搬送しました。「さやあかね」は澱粉の含有量（ライマン）が多く19.2%も有りました。